

郡山市立富田中学校
学校だより

No.5

手をたずさえて

“富中PRIDE” ~自信と誇り~

自ら学ぶ生徒
正しく行動する生徒
健康でたくましい生徒



令和元年5月13日(月)発行

【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

“鍛えし技と心とからだ 今こそ示す時いたる!”

市陸上大会壮行会 5/10(金)

5月10日(金)には、15日(水)・16日(木)に開成山陸上競技場において開催される市陸上大会の壮行会が行われました。今年度最初の壮行会で、1年生にとっては初めての経験であり、新生応援団のデビュー戦でもありました。応援団長は尾辻晴君(3-4)、副団長は佐久間陽太君(3-1)と大高史也君(3-5)、旗手が清水勇佑君(3-7)、太鼓が吉田大二郎君(3-2)と幹部は全て野球部員が務めます。応援団の生徒達は、この日のために朝練に取り組んでくれました。今後、数多くの壮行会があります。これからも全校生のリードをよろしくお願いします。

壮行会では、陸上部による選手紹介と決意表明があり、応援団のリードのもと手拍子応援、応援歌、エールを送りました。全校生で思いを込めた応援ができました。会の最後には陸上部部長の藤田奈々花さんが大会に向けた強い決意を全校生にしっかりと伝えました。陸上部は過日行われた春季陸上大会で総合2位というすばらしい成績を収めました。昨年度が総合5位だったので、個々の力が伸びていることの証明です。また競技者を部員全員で応援する体制が陸上部の伝統です。陸上部の生徒達には、自己ベスト記録の更新、そして競技者と応援者が一体となるチーム力の発揮を期待します。

本校には他に誇れる校歌がありますが、すばらしい応援歌もあります。タイトルは『富田春秋』。春夏秋冬の4番までの歌詞からなる応援歌です。

「春らんまんの富田の丘に／高き望みを掲げつつ／
鍛えし技と心とからだ／今こそ示す時いたる」
(応援歌『富田春秋』1番“春”)

全校生で歌い上げた、まさにこの歌詞のとおりです。陸上部の健闘を祈ります!また、会の運営にあたってくれた生徒会執行部、入退場曲の演奏をしてくれた吹奏楽部の生徒達にも感謝します。

保護者の皆様へ

- 家庭訪問では、貴重な時間をつくっていただき、ありがとうございました。

いただきました情報やご意見等を今後に生かしていきたいと考えております。

- 5月10日(金)には「PTA各種委員会」が開催されました。全体会の後、学年委員会、専門委員会が行われました。教養、広報、育成、厚生 of 4つの専門委員会においては、役員選出、年間活動計画の確認と運営方法の検討、予算の確認と執行計画等についての協議が行われました。

これにより、令和元年度のPTA活動が本格的にスタートすることになります。お忙しい中、ご参集いただきました皆様に感謝申し上げます。5月31日(金)には第1回PTA実行委員会、6月2日(日)には第1回PTA奉仕作業が行われます。



“富中PRIDE” かがやくこと いくつか...

第1回受賞報告会 [5/10 (金)] より



■ 第15回郡山サッカー協会長杯 3/23

第3位 遠藤愛斗、佐々木春登、渡邊航大、大河原 琉、熊田空良、笹原加慶、佐田玄騎
添田桔平、山口亜由夢、石木陸人、穴戸敦哉、長岡颯人、堀越悠輔、阿部凌真
酒井羅瑠、磯貝拓斗、坪井凌太、増子裕太

■ 第60回県南春季陸上競技大会 4/21

中学男子100m	第2位	根本寛大	11" 98
中学男子200m	第2位	根本寛大	23" 78
	第3位	大谷介人	24" 28
中学女子200m	第2位	藤田奈々花	27" 24
中学男子400m	第2位	飯 亨介	54" 60
中学男子800m	第3位	増子風希	2' 08" 39
中学女子走高跳	第3位	大橋七海	1m40
中学男子砲丸投	第1位	齋藤 蒼	10m69
中学男子4×100mR	第3位	47" 51	

大谷介人、飯 亨介、増子風希、遠藤漣央
【男子総合】**第2位** (36点) 【男女総合】**第2位** (51点)



■ 第20回県中地区中学生選手権大会(ソフトテニス)

男子3位トーナメント **第1位** 4/29
菅野柊羽、小池直輝、鈴木陸斗、笹川龍心
齋藤 翔、馬場翔悟、菅野那樹、高橋順平

■ 第24回郡山市中学生ソフトテニス選手権大会 5/3

中学男子の部 **第3位** 菅野柊羽・小池直輝ペア

■ 県中地区学年別卓球選手権大会 5/3

中学3年女子 **第3位** 菊地美愛、佐久間あかり

本校では各種大会やコンクール、検定等で優秀な成績を収め表彰を受けた生徒は、校長が表彰するのではなく、受賞した生徒が校長に報告し、全校生に向けて受賞の感想や今後の抱負等を発表するという『受賞報告会』を実施しています。昨年度は計13回の受賞報告会が行われました。今年度も、第1回受賞報告会が5月10日に実施されました。今回の報告会が、これから行われる市陸上大会、市中体連総合大会への弾みになることを期待しています。

“人が車と同じ道路にいる限り...”

交通事故防止について

道をてくてく歩く子どもたちの目には何が映っているのだろうか。何十年と続く本誌「こどもの詩」欄を眺めていると、散歩を題材にした作品にしばしば出会う。小鳥のさえずりを聞いたり、昆虫や野花を見つけたり、足元にくっついて離れない影法師をふしぎがる詩もある。

自分の影が前になったり後ろになったり／影が一人でさん歩しているみたいだね (小学3年男子)

きのう滋賀県大津市の空はよく晴れていた。お日様の下、小鳥やチョウや花や影法師に見とれた子もいただろう。保育園児の集団に車が突っ込んだ。幼い瞳にはあまりに凄惨な事故の景色である。園児13人と保育士3人が病院に運ばれた。このうち園児2人が亡くなり、1人が意識不明の重体となっている。血の痕と散らばった水筒が残される現場で女2人が逮捕された。一方が右折しようとしたところに、一方が直進して衝突し歩道に乗り上げたという。交差点でよくある事故にちがいない。

よくある、と書いてゾッとする。じつは散歩も安全ではないのだと。人が車と同じ道路にいる限り、解決をみない事故である。車社会の暗部だろう。

～読書新聞 2019年5月9日(木) 朝刊「編集手帳」～

また心の痛む凄惨な事故が起きてしまいました。危険回避のために、どんな安全対策をとったとしても、防ぎきれない事故。「人が車と同じ道路にいる限り、解決をみない事故である。」という言葉に集約されています。しかしながら、“自分の命は自分で守る”という意識を持ち続け、飛び出しや並列歩行・走行は絶対にしないなど、交通ルールを厳しく守っていく姿勢を決して忘れてはならないということを、今回の事故の大きな教訓としなければならないと強く思いました。我々教職員も含め全校体制で、再度“交通事故防止”について真剣に考え、交通ルールやマナーを厳守していきましょう！それが我々にできることです。

